

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 6 年 3 月 7 日

事業所名 療育サポート こぼると

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	1	・クールダウン等で使用できる個室の準備を検討している。	・スペースを広く使えるよう活動内容によって工夫しています。また、状況に応じて個別スペースが確保できるよう今後も検討していきたいと思います。
	2	職員の配置数は適切である	5		・基線的には問題ない	・療育を受けるお子様の特性に合わせて安全に過ごして頂けるように人材確保をしていきます。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	5		・エリア分けをして、視覚的に構造化された環境を提供するようにしている。 ・危険な場所は毎回安全確認を行っている。	・特性に合った環境設定を今後も継続します。 ・毎日の安全点検を今後も継続します。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	5		・清掃と玩具や課題の消毒を毎日行っている。 ・換気を行い、空気清浄機の利用もしている。	・掃除や消毒等は今後も継続して行います。 ・子供たちの活動内容にあった環境整備を行います。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	5		・日々担当スタッフが計画性をもって業務にあたっている	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4	1		・今回が初めての評価となりますが、今後も継続して行い、常に改善していくよう心掛けます。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	1		・今回が初めての評価となりますが、今後も継続して行い、常に改善していくよう心掛けます。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	4	・外部評価を行っていない。	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5		・研修参加を心掛けている。	・年間研修計画書を基に職員のスキル向上を目的に研修への参加も積極的に行っていきます。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	5		・6か月に1回の支援会議や送迎時に保護者様とコミュニケーションを図り、保護者様の困り事等をお聞きし必要な支援に繋げられるように心掛けている。	・今後も継続します。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5		・アセスメントシートを活用し、状況把握を行っている。	・今後も引き続き実施し、必要に応じた情報共有を行っていきます。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	5		・地域支援に関しては、今後重要視していく。また、家族への負担軽減にも努めている。	・今後も引き続き適切な支援内容が徹底できるよう検討を実施する。また、家族支援に関しては必要に応じて相談支援員等の関係機関等とも連携をしっかりと取っていきます。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	5		・利用者様の発達段階に合った支援を提供し、その日によって内容も検討している。	・今後も継続します。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	5		・支援会議や毎日の朝礼等の場で話し合っている。	・今後も職員で話し合いながら活動プログラムの立案を行い、支援提供を継続します。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5		・職員間でアイデアを出し合いながら季節にもあった活動プログラムを検討している。	・今後も継続します。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	5		・お子様の状況に応じて、個別と集団の活動内容を検討している。 ・集団活動は土曜日利用の際に放デイの利用者様と一緒にしている。	・今後も継続します。

適切な支援の提供	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5		・朝礼にて情報共有を職員間でしっかり行っている。	・今後も継続します。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3	2	・放デイの支援開始前に、必要最低限の情報共有を行い、翌日の朝礼で再度情報共有を行っている。	・児童発達支援の支援終了後に情報共有と記録を行っていますが、確実に情報共有が職員間で行えるように、翌日の朝礼でも必ず情報共有ができる時間をとっています。今後も継続し、職員間の情報共有を確実にしています。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5		・利用された後に療育内容を必ず記録し、必要に応じた支援提供が行えているが確認している。	・今後も継続します。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	5		・毎月の職員参加の支援会議、6か月ごとの保護者様参加の支援会議にて見直しを必要に応じて実施。	・今後も継続し、お子さまの状況把握と見直しに努めます。
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5		・児童発達支援管理責任者が参加している。	・今後も継続し、必要に応じて適任な人材が参加します。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	2	3		・今後、必要に応じて対応していきます。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				・医療的ケアが必要なお子様や重度心身障がいのあるお子様はお受けしていません。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				・医療的ケアが必要なお子様や重度心身障がいのあるお子様はお受けしていません。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	1	4	・情報共有を直接行った事は現時点ではない。保護者様や相談支援事業所の担当者様から情報収集を行うことが多い。	・必要に応じて、参加をします。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	1	4	・情報共有を直接行った事は現時点ではない。保護者様や相談支援事業所の担当者様から情報収集を行うことが多い。	・必要に応じて、参加をします。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	1	・研修に参加する事で、様々な情報を得ている。	・今後も継続します。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	4	・公園等の公共施設の利用をする際は活動を共にしている。	・系列の保育園があるので交流する場を、今後検討する予定。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加している	1	4	・現状、参加していない。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5		・情報共有をしっかり行うよう心掛けており、連絡帳だけではなく口頭でも伝えるようにしている。 ・必要に応じて電話連絡を行い、保護者様からの意見も伺うよう心掛けている。	・今後も継続します。
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	2	3	・ペアレントトレーニング等の実施は現状していないが、親支援について、現在学んでいる。 ・相談等があった場合は出来る限り保護者様に寄り添ったアドバイスや提案が出来るように心掛けている。	・今後も継続します。	
32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5		・担当者がしっかり時間をとって説明を行っている。	・細かい声掛けと説明を今後も継続します。	
33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	5		・サービス等利用計画書に基づき、納得していただけるプランの作成を心掛けている。 ・半年に1回の支援会議の際に保護者様と支援側がお子様について話し合い、適切な支援を提供できるように心掛けている。	・今後も継続します。	

保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4	1	・連絡帳に記入されている事や送迎時に保護者様から伺った話は、職員間で必ず情報共有を行い、支援に繋げるようにしている。	・今後も継続し、保護者様に寄り添った支援が提供できるように心掛けます。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		5	・実施したことはない。	・現状、開催した事はないですが、今後、検討していきたく思います。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	5		・相談や何かしらの申し入れがあった場合はすぐに共有し、対応の検討を職員で行い、迅速に対応するように心掛けている。	・今後も誠心誠意対応していきます。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5		・SNSでの情報の発信やご利用時の様子・写真を保護者様に共有している。	・定期的にInstagramやブログの更新を行い、活動の様子を配信していますので今後も継続します。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	5		・個人情報の取り扱いに関する誓約書を交わし、社外への個人情報の持ち出しは厳禁としている。また、個人情報は鍵付きの棚で保管している。	・今後も継続します。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5		・使う言葉にも気を付けながら接するように常に心掛けている。	・今後も継続します。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		5	・地域の方に参加して頂く活動等は現状行っていないが、会った際には挨拶を行っている。	・今後、検討していきます。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	4	1	・マニュアルを保護者へ周知できるよう検討している。 ・マニュアルに沿って、それぞれ対策や訓練を定期的実施している。	・現在活用しているマニュアルを保護者様へも周知できるようにホームページへの掲載を検討しています。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4	1	・様々な災害を想定した避難訓練を年2回行い、佐賀市にも報告書を提出している。	・現在活用しているマニュアルを保護者様へも周知できるようにホームページへの掲載を検討しています。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	5		・契約時にアセスメントシートに詳しく記入をもらっている。 ・発作が出た場合の対応や救急搬送時の対応を保護者様と共有している。	・今後も継続して、安全にご利用していただけるよう情報共有をしっかりと行います。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	2	・現在、食物アレルギーを持つ利用者様はいないが、十分気を付けながら支援を行う事を職員間で共有している。	・新規契約を結ぶ際に必ず聞き取りを行い、アレルギー物質の摂取がないように十分に気をつけて支援を提供します。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5		・該当する事例が発生した場合、報告書の提出を義務化している。	・今後も継続します。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5		・佐賀県の出前講座を依頼し、研修に全職員が参加している。	・今後も継続します。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	4	1	・現状、身体拘束を行った事例はないが、身体拘束における指針を作成し、職員間で情報共有を行い、慎重に動くようにしている。	・今後も継続し、定期的に内容の検討を行います。